

日ニ限り殆ト往診等ノ事ナシ診察期日ハ漢口仁濟男醫院ニ
於テハ毎月八、九回他ノ三醫院ニ於テモ同シク八、九回ト
ス尙仁濟各醫院トモ特別ナル患者ニ對シテ無料施療ヲ爲ス
コトアリ

左ニ武漢仁濟各醫院ニ通スル規程ナルモノヲ掲ク

一、男女診察ヲ受タルモノハ各診察日時刻ニ來リテ姓名ヲ

告ケ診察券ヲ受クヘシ時間ハ午前十時ヨリ午後一時迄ト

ス新ニ診察ヲ受タルモノハ男十仙、女四仙ヲ徵ス、復診

ヲ受タルモノニシテ前診察券ヲ有スルモノハ男五仙、女

二仙ヲ徵收ス、前診察券ヲ失シタルモノハ男十仙、女四

仙ヲ徵收ス、仙ヲ徵收ス

一、本院ノ診察ハ番號順ニ之ヲ爲ス急病ニテ先ニ治療ヲ受

タルモノハ外ニ三十仙ヲ徵收ス

一、診察期日以外ニ來院治療ヲ求ムルモノハ晝間一元、夜

間二元ヲ徵收ス

一、花柳病、梅毒病ノ診察ハ毎回藥價二十五仙ヲ徵收ス、

但シ遺傳症患者ニ對シテハ藥價ヲ免ス、藥價ニ就キ特約

ヲ欲スルモノアルトキハ別ニ協定スルコトアルヘシ

一、阿片中毒者ニシテ入院治療ヲ求ムル者ハ晝間十元、夜間二十元

間二元トス其ノ往診ヲ求ムル者ハ晝間一元、夜間二十元

外ニ車馬賃ヲ要ス

一、入院費（食費藥價共）男ハ毎日十五仙ヨリ二十仙マテ

女ハ毎日十仙ヲ徵收ス、入院日數ハ醫師ヨリ酌定シ其ノ

費用ノ概算ヲ前納セシメ然ル後入院セシム手術ヲ受クル

者ハ別ニ一元以上五元以下ヲ徵收ス

二、等 一元五十仙

三 等 一 元

四 等 三 十 仙

一、一日ノ藥價十仙（手術料ハ臨時酌收ス）

一、院内診察晝間一元、夜間二元

一、往診晝間三元 夜間ハ六元別ニ車馬賃ヲ要ス

仁 慈 醫 院

仁慈醫院ハ一名天主堂新醫院ト稱シ天主教宣教師及支那人

有志者ノ努力ニ依リ漢口佛租界ニ設立セラレタルモノニシ

テ支那人専門ノ病院トス本院設立ニ際シテハ支那人有志者

ノ賛成スルモノ多ク寄附金ノ如キ當時湖北將軍段芝貴銀百

元ヲ筆頭トシ有力ナル官民ノ寄附合計數千元ニ達シタルト

本院主管者及醫師ハ天主堂醫院ノ兼職ニシテ入院患者月平

均百名外來患者約四千五百餘名（一日平均約百五十名）ノ

盛況ナリ

蓋シ本院設立ノ際天主堂宣教師（當地ニ古ク居住シ支那人官

民間ニ知己多キ）及信者中ノ有力者等カ一般支那官民ニ訴

ヘテ寄附ヲ仰ク等當初ヨリ大ニ努力スル所アリ以テ今日ノ

効果ヲ齋シタルカ如シ

普愛醫院

本院ハ千八百七十一年漢口露租界武聖廟ニ設立シ循道會ノ

管理スル所タリ主管者ハ同教會英國人「ダブリューテチエ

ル」牧師ニシテ醫師英國人一名、支那人四名アリ患者ハ支

那人ヲ主トシ入院患者一ヶ月概算二十名、外來一日百餘名

アリ

普愛婦嬰醫院

本院ハ普愛醫院ノ姊妹醫院ニシテ同シク循道會ノ設立ニ係

リ其ノ主管者ハ同教會「ブース」娘ニシテ醫師ハ男醫院ト

兼務ニシテ診察期日ヲ定メ置ク等仁濟醫院ニ異ナラス而シ

テ本院モ亦婦人並ニ小兒ヲ取扱フ

同仁醫院（武昌）

本院ハ千九百十一年英、獨、佛、露等當地各國人ノ合辦ニ

係リ取扱フヘキ患者ハ外國人ニ限ラル目下醫師英國人一名

佛國人一名、露人一名、米人一名外ニ事務員米國人一名ア

リ

テ本院モ亦婦人並ニ小兒ヲ取扱フ

萬國醫院

本院ハ千九百〇六年聖公會ニ依リ設立セラル現主管者ハ聖

彼得醫院醫師「マクヴィリー」（米國人）ニシテ外來患者毎

日平均六十餘名一個月入院患者約五十名アリ目下米國人醫

師一名、支那人醫師六名アリ

其他ノ病院（各地）

其ノ他外國人經營各種救濟機關

多ク各教會カ其事業トシテ孤兒院、癩病療養所、貧民授業

學校、盲人學校、老人救濟院等各樣ノ施設ヲ有シ救濟ニ努

ム管內ニ付テ見ルニ英ノ循道會二個所ノ孤兒院及盲人學校

ヲ經營シ倫敦會ノ孤兒院等ニシテ之等經費ハ支那人ノ寄進並所

瑞瑞典共同會ノ孤兒院等ニシテ之等經費ハ支那人ノ寄進並所

屬教會ノ補助ヲ以テ之ニ充ツルモノ多ク或ハ本國ヨリ寄附

ヲ送付シ來ルモノアリ而シテ各相當ノ成績ヲ擧ケ地方支那

一、禁煙ヲ求ムルモノハ少クトモ食費及藥價五元ヲ徵收ス

其ノ治療期日ハ二十日間トス滿期ヲ俟テ退院スヘシ

トモ二十日間ノ入院ヲ要ス

一、本院ハ別ニ看護人室ノ設備アリ獨居ヲ望ムモノハ一室

一元ヲ徵收ス

仁濟婦女醫院

同院ハ仁濟醫院ト同シク倫敦會ノ設立ニ係リ一九〇一年漢

口英租界ニ開設セラル本院ハ婦女並ニ小兒ノ患者ヲ取扱フ

外一切男子患者ヲ取扱ハス外來患者一日平均二十餘名入院

患者毎月二十名内外アリ（其ノ他仁濟男醫院ト同シ）

天主堂醫院

天主堂醫院ハ一八五八年天主堂宣教師ノ盡力ニ依リ漢口ニ

於テ最モ繁榮ナル場所タル英租界鄱陽街ニ開設セラレタリ

主管者ハ同教會「アグニース」教師ニシテ外國醫師ハ佛國

人一名、英國人二名、支那人醫師三名アリ外ニ事務員佛國

人三名支那人三名ヲ有ス、患者ハ西洋人本位ナルモ支那人

患者モ亦取扱ヒ來リシカ天主堂新醫院設立サレテヨリ以來

支那人患者ヲ絕對ニ取扱ハサルコトセリ入院患者數ハ一

個月二、三十名外來患者一日約二十餘名アリ赤貧者特別ノ

患者ニ對シテハ無料診察ヲ施スコトアルモ原則トシテ相當

ノ料金ヲ徵收スルコト他病院ト異ナラス同院所定ノ入院料

其ノ他左ノ如シ

一、入院料

一 等 三 元

人ハ外國人ノ此純然タル慈善的美舉ニ對シ非常ナル好感情ヲ有シ居ルモノノ如シ今管内ニ於ケル主ナル各種救濟機關

ノ所在地ヲ舉クレハ左ノ如シ

三五〇

一、各孤儿院

各地各孤兒院ノ目的ハ何レモ各孤兒院ノ救濟シテ職業ヲ傳習セシムルニ在リ在隨州孤兒院ハ比較的年長男子ノ孤兒ヲ收容シ園藝神學ヲ授ケ退院後ハ傳道師トナルアリ在西安孤兒院ハ男、女兩班ニ分チ男班ニハ料理法女子ニハ多ク裁縫ヲ授ク以上各孤兒院ハ各所屬教會ノ宣教師等之カ主管者タリ

二、訓盲書院

本校ハ可憐ナル盲人ヲ救濟教育シテ業ヲ授タル目的ヲ以テ千八百八十八年「ダビットド、ヒル」牧師ノ設立スル所ニ係リ今日尙外人間ニハ「ダビットド、ヒル、スクール」ノ名ヲ以テ知ラレ校舎ハ四十名ノ生徒ヲ收容シ得ヘキ設備ニシテ開院當時六人ノ盲人生徒ト北京ノ盲啞學校ヲ卒業シタル一人ノ盲人ヲ募集シテ教育事業ノ外正午ヨリ製籠法ヲ教授シ

十八年「ゼミ

ルニアリ又他ノ癩病療養所經營者ニモスル困難ナル事業遂行上參考トナルヘキ様萬事適當ノ設備ヲ爲シアリ而シテ同所ヨリ豫メ湖北省、河南省其ノ他ノ地方ニモ設ケラルル敷會ノ病院長ニ入所券ヲ配付シ置キ之ニ依リ各所ノ街路ニ其ノ醜體ヲ暴露シツツアル癩病乞食ヲ收容ス從ツテ收容餘力アルニ於テハ如何ナル場所ヨリ來ルヲ問ハス入所出願者ハ之ヲ許可シテ入所セシムルコトトナリ居レリ

一千八百五十八年佛國天主堂

レ八十四歳以上ニシテ貧苦廢疾ノ輩ニ收容救濟スルヲ以テ
目的トシ自下教師二名被收容者約五十名アリテ純然タル慈
善事業ニ屬シ支那官民ノ天主教ニ感謝スル所少カラスシテ
其ノ成績良好ナリ

卷之三

京漢鐵道沿線ノ產物——鄭州及鄭州ヲ中心
トスル商工業（イ）棉花（ロ）羊毛（ハ）牛皮
（ニ）牛骨（ホ）鷄卵（ヘ）鄭州ノ金融機關（ト）
倉庫及轉運公司（チ）鄭州ノ工業——汴洛鐵
道沿線狀況——開封ノ市況及工業——黃河
ノ水運河南物資搬出ノ利便比較

第十八章 河南省京漢津浦兩

京漢鐵道沿線ノ產物——鄭州及鄭州ヲ中心
トスル商工業（イ）棉花（ロ）羊毛（ハ）牛皮
（ニ）牛骨（ホ）鷄卵（ヘ）鄭州ノ金融機關（ト）
倉庫及轉運公司（チ）鄭州ノ工業——汴洛鐵
道沿線狀況——開封ノ市況及工業——黃河
ノ水運河南物資搬出ノ利便比較
京漢鐵道沿線ノ產物

鄭州及鄭州ヲ中心トスル商工業
京漢線ニヨリ北四百二十三哩、黃河ヲ過キ河北、直隸ノ平
原ニ走リ十八時間ニシテ北京ニ達スルヲ得ヘク南ハ河南、
湖北ノ平野ヲ橫斷シ三百三十二哩、十四時間ニシテ漢口ニ
到ルヲ得ヘシ又白耳義「シンジケート」ヨリ資本ト技師ト
ヲ得テ建設セル隴海鐵道即チ甘肅省、蘭洲ヨリ江蘇省海州
ニ達スヘキ大幹線ノ一部タルヘキモノ、自下ハ東ハ津浦線、
徐州驛ヨリ西觀音堂ニ至ル（全長三百八十五哩）線モ此地

タリシカ近時現院長「ピール」氏ノ教授ノ注意ト生徒ノ熱心トニ依リテ學校ハ非常ナル發達ヲ致シ設立者タル英國循道會ハ一般支那人ヨリ感謝ヲ拂ハレツツアルカ如シ教授スル所ハ一般科學、神學、音樂、各種手工、其ノ他ニシテ數學、地理、歷史及支那文等ハ口頭教授ナルニ不拘普通學校生徒同様ノ効ヲ奏シツツアリト又音樂及唱歌ハ各人ニ付テ教授シ聖書ハ教會學校同様ナル注意ヲ以テ教授ヲナシ生徒ハ能ク探讀ヲ爲ス現在生徒二十三名アリ

三、癩病療養所

湖北省孝感縣ニ設ケラレアル癩病療養所ハ倫敦會ノ經營ニ係リ同會ノ(Dr. Fowler) 牧師ハ既往約十五個年間其ノ經理者ニ任シ相當成效ヲ收メツツアルカ如シ而シテ同所ノナル目的ハ支那官憲ニ其ノ模範ヲ示シ之ニ倣ハシメントス

貫通シ鄭州ニ於テ汴洛線ト交叉シ新鄉ニテ道清鐵道ヲ横断
シ又直隸石家庄ヨリハ正太鐵道ヲ分岐ス此等ノ鐵道ノ沿線
ニ於ケル諸種ノ物資ハ多ク京漢線ニ吸收セラレ加之陝西、
山西ノ物產亦此線路ニ依テ移出セラル殊ニ河南ニ於ケル棉
花、麥、豆類、胡麻、藥材並ニ皮革類ハ其ノ主ナルモノニ
シテ今其ノ產出地方ヲ列舉スレハ大凡次ノ如シ

ス
郾城縣附近ニテ一萬噸ヲ產ス
同
郾城附近三萬噸、西平一萬噸、駐馬店、
信陽、新鄉ニテ各二萬噸ヲ產ス
郾城附近ニテ四萬噸
懷慶府地方ニテ一萬七千餘擔アリ、上海
小麥
黑豆
芝麻
菉豆
藥材(山藥)

香港ニ移出ス
地 黃 懷慶府地方ニテ四萬五千餘擔ヲ產ス
鄭州及鄭州ヲ中心トスル商工業
京漢線ニヨリ北四百二十三哩、黃河ヲ過キ河北、直隸ノ平
原ニ走リ十八時間ニシテ北京ニ達スルヲ得ヘク南ハ河南、
湖北ノ平野ヲ橫斷シ三百三十二哩、十四時間ニシテ漢口ニ
到ルヲ得ヘシ又白耳義「シンジケート」ヨリ資本ト技師ト
ヲ得テ建設セル隴海鐵道即チ甘肅省、蘭洲ヨリ江蘇省海州
ニ達スヘキ大幹線ノ一部タルヘキモノ、自下ハ東ハ津浦線、
徐州驛ヨリ西觀音堂ニ至ル（全長三百八十五哩）線モ此地

(ホ) 鷄卵 鄭州ヨリ是迄志大蛋廠ノ需要ヲ除キ上海ニ車送
スルモノ一ヶ月約六百萬箇ニ上ルト云フ、今附近各地ノ類
產ヲ聞クニ一日ノ產額概略次ノ如シ

杞縣	二千枚	開封	三千枚
一萬枚	許州	二萬枚	洛陽
三萬枚	衛輝	千二百枚	德道
一萬枚	偃師	八百枚	深澤
千五百枚	駐馬店	二千枚	口河
三千枚	周家口	五萬枚	懷慶
二千枚	木棠	三千枚	禹州
三萬枚	信陽	一萬枚	平遠
六百枚	西平	三千枚	遂城
三千枚		一千枚	考城

此等牛皮ノ太皮一五%、中皮六〇%、小皮二五%ノ割合ナ

リ而シテ其ノ目方大ハ四十斤内外、中ハ三十斤内外、小ハ

二十斤内外ナリ

該地方取引ニハ皮行ノ慣習トシテ行用即チ口錢三分ヲ要シ

現金取引トス

荷造ハ頗ル簡単ニシテ只五、六枚乃至十二、三枚ヲ一束ト

シテ繩ニテ之ヲ結束スルノミナリ

(ニ) 牛骨 牛骨ハ前記牛皮ノ產額ヨリ打算シ一頭平均二十
五斤トシテ五百萬斤ヲ得ヘシ尙之ニ馬、驥、驢、羊、豚、
犬骨等ヲ入ル、時ハ少クトモ年五千噸ハ優ニ生產スヘシ而

シテ此ノ最出廻リ多キ時期ハ舊曆十、十一、十二月ノ三ヶ

月ニシテ最少キ時期ハ五、六、七ノ三ヶ月トス

價格ハ鄭州ニ於テ一擔一元乃至一元二、三十仙ニシテ山東

濟南ヨリ時々之カ買出ニ出張シ來ソ黃河ノ水運ニ依リ河口

ニ運フ

(ホ) 鄭州ノ金融機關 鄭州ニハ確實ナル金融機關ニ乏シタ
一時ニ數萬元ノ支出ヲ望ム能ハス該地交通銀行スラ一萬元
ノ支出ニハ開封ノ同行ト連絡シ辛ウシテ之ヲ辨シ得ルノ狀
況ナリ

價格ハ最高一箇十二文廉價ナル際ニハ一箇九文ナリト荷造
ハ八百五十箇入ヲ一籠トナシ運搬ス重量六十斤乃至六十五
斤アリ

鄭州ノ銀行並ニ錢舖ヲ舉クレハ次ノ如シ

新濟	宏大	甡記	新順	同心	大同
天成	永陽	公成	永昌	順和	源和
順豐	德厚			昌	勝堂

名稱 資本金

交通銀行	三萬元
大成銀號	三萬元
豫順和	一萬元
宏久	五萬元

(ト) 倉庫及轉運公司

京漢及隴海兩線ハ倉庫ノ設備全然ナ

タ轉運公司ニ於テ之ニ關スル業務ヲ取扱居レトモ之トテモ
植雞ナル建物ニシテ不完全ナルモノナリ倉敷料モ棉花ヲ除
キテ雜穀其ノ他ノモノニ付テハ無料ナルモ保管ノ責任ヲ負
ハサルモノトス

棉花ノ倉敷料左ノ如シ

三井洋行 庫入後十日間ハ無料十日後一ヶ月毎ニ一俵

ニ付キ銀一匁即チ一擔ニ付キ五分五厘ノ割
合ニテ支拂ヒツ、アリ

日信洋行 庫入後十日間ハ無料十日後一ヶ月毎ニ一擔

銀三分ヲ支拂ヒツ、アリ

備考 斯タ異ナルハ各々轉運公司ニ依リテ其ノ料金ヲ異

ニスルヲ以テナリ

倉庫不完全ニシテ棉花、油等混同シテ保管スルカ致ニ保険
會社ハ容易ニ保険ヲ引受ケ斯假令保險ヲ附スルモ普通率ノ
數倍ヲ課セラル三井洋行ニテ保險ヲ掛タル所ヲ聞クニ三千
兩ニ付一ヶ年二十七兩五匁ナルヲ以テ荷主ノ苦痛大ナレハ
本邦商人ハ著荷ト同時ニ牛皮ノ如ク再ヒ乾燥ヲ要スルモノ
ハ直チニ其ノ乾燥場ニ運ヒ或ハ安全ナル他倉庫ニ運ヒ來リ
テ改裝スル等出來得ル限り轉運公司ノ倉庫ニ置カサル様注
意シ居レリ

轉運公司ハ鐵路一帶ニ各自出張所ヲ有シ隨時荷主ノ依頼ニ

レハ

公與存

元順

劉萬噸

王成

盛豐

開封 一五、〇〇〇噸 中牟 一五、〇〇〇噸

三五五

右五公司ハ轉運公司中最モ大ナルモノニシテ

鄭州

一、五〇〇噸

蘭封

一五、〇〇〇噸

柳河

二、〇〇〇噸

野鷄崗

一、五〇〇噸

總テ支那人ノ手ヲ通シテ來ルトコトナリ

鄭州以西ノ沿線ハ丘陵打續キ土民ハ穴居多シ西走スルニ從ヒ土地隆起シ山岳連リ石炭ヲ產出ス其ノ概況ニ關シ聞キ得タル所ヲ摘記セハ左ノ如シ

繩池及義馬ノ炭田

觀音堂ノ東方六十支里ニアリ品質稍良

好無煙炭ニシテ粉炭多シ大部ハ土民ノ燃料用ニ供セラル、

モノニシテ未タ他縣ニ多ク移出セラレサレトモ時々洛陽及

鄭州方面ニ搬出セラル、ヲ見一日ノ出炭全部ニテ五十萬斤

ヲ超ユト云フ

洛陽附近ノ炭田 海拔四百有餘呎ノ高山々脈ヨリ探掘スル

モノニシテ粉炭多シ洛陽縣下ニ一ヶ所、鞏縣ニ二ヶ所アリ

附近一帶ノ諸縣ニ移出セラル同シク土民ノ燃料用ニ供セラル

開封ノ市況及工業 開封ハ河南省城ニシテ面積廣大市街

亦繁華ニシテ電信、電話、電燈ノ設備モ整ヒ市況活潑ニシテ真ニ河南第一ノ都會タルヲ失ハス當地ニ督軍省長交渉員

等ヲ初メ諸官衙アリ又諸地方ノ官吏蓄財シテ退官シ來リ此處ニ餘生ヲ送ルモノ多シト從テ商業地ニハアラス只近郊ノ

落花生、羊毛等ノ集散アルノミ當地ハ物產ノ輸出地ヨリハ寧ロ輸入地ナリ馬道街ノ河南第一觀工場ニ就キ觀ルニ雜

貨ハ支那特有ノ日用品ヲ除クノ外大部分ハ日本品ニシテ過

日日貨抵制ノ運動最旺盛ヲ極メタル地ニモ拘ラス昨今八日

貨ヲ陳列シ販賣シテ少シモ憚ル所ナキ風アリ輸入雜貨ハ天津ヨリ六分漢口ヨリ二分青島方面ヨリ一分位ツノ割合ニ

普臨電燈公司 民國元年ノ創立ニシテ資本金二十萬兩商辦

トシテ鄭州明遠電燈公司ト同一資本家ニ依リ經營セラル、

モノニシテ兩所ヲ通シ邦人技師一名招聘シアリ

黃河ノ水運 鄭州在住本邦商ノ談ヲ聞クニ黃河ノ甘肅ヨリ

蒙古ノ南邊ヲ過キ山西、陝西ノ境ヲ南流シ三河口ニテ陝西

ノ中部ヲ貫流スル渭河ヲ合シテ東流シ河南ノ陝州、三門、龍

門ノ峻灘ヲ過クル間ハ河中隨處ニ巖石突出シテ流水ハ矢ノ

如ク舟夫一度其ノ操縱ヲ誤タハ忽チ舟隻粉塵ス從來年々多

キハ十五、六隻少クモ三、四隻ハ必ス此災厄ニ罹ルト云フ

陝西渭河ノ流域ハ有名ナル棉花ノ產地ニシテ多ク此ノ水運

如ク舟夫一度其ノ操縱ヲ誤タハ忽チ舟隻粉塵ス從來年々多

キハ十五、六隻少クモ三、四隻ハ必ス此災厄ニ罹ルト云フ

陝西渭河ノ流域ハ有名ナル棉花ノ產地ニシテ多ク此ノ水運

ハ左ノ如シ

漢口經由 和尙橋ヨリ漢口大智門驛ニ至ル京漢線二十噸、
貨車運賃（釐金稅積卸貨ヲ含ム）三二〇元大智門ヨリ露租
津ノ三港ニ出テ夫ヨリ大阪迄ノ陸、海運貨諸掛リヲ比較セ

盛ナルヲ以テ密縣ニ集メ密縣ヨリ馬車ニテ京漢線和尙橋驛ニ運ヒ出スモノトシ和尙橋驛ヲ起點トシテ漢口、青島、天津ノ三港ニ出テ夫ヨリ大阪迄ノ陸、海運貨諸掛リヲ比較セ

ハ左ノ如シ

漢口經由 和尙橋ヨリ漢口大智門驛ニ至ル京漢線二十噸、
貨車運賃（釐金稅積卸貨ヲ含ム）三二〇元大智門ヨリ露租

界日清汽船碼頭迄車馬ノ便ナク全部苦力ノ背ニ俟ツモノト

シテ四〇元ヲ要ス漢口、上海間一噸四元八五、上海、大阪間七元五〇、汽船運賃計一噸一二元三五ナリ然レトモ汽船

運賃ハ才噸ニシテ重量噸二十噸ハ約才噸三十噸ニ相當ス合

計三七〇元五〇トナリ大阪迄ノ船車運貨總計七百三十元五

○ニシテ每噸二四元三五トナル勘定ナリ

青島經由 和尙橋ヨリ二十噸貨車、鄭州迄四十元、鄭州ヨリ濟南ニ至ル隴海津浦鐵道運貨諸掛リ四百元、濟南ニ於ケ

ル山東鐵道ヘノ積替費十五元、山鐵運貨九〇元以上鐵道運

貨諸掛リ五四五元、青島、大阪間才噸運貨八元ナルヲ以テ

才量三十噸トセハ二百四十元、大阪迄ノ船車貨總計七八五

元ニシテ才噸二十六元十七仙トナリ漢口、上海經由ニ比シ

天津經由 天津迄ノ京漢線並ニ京奉線運貨釐金稅諸掛リヲ

加ヘ二十噸貨車四五〇元天津、大阪間汽船運貨才噸六元ニシテ才噸三十噸トセハ百八十元、船車運貨總計六三〇元才噸一噸二一元トナリ青島經由ヨリモ五元十七仙安ク漢口經由ヨリ三元三十五仙安價ナリ

舟ニ幅約二十五尺長約四十尺ノ平底舟ニシテ棉花百五十包（一包百九十斤内外）乃至二百包、小舟ハ約百包ヲ積ミ渭河ヲ下リ三河口ニテ黃河ニ入り陝州迄到ル陝州以東ハ大舟ノ通過ハ絶對不可能ニシテ只小舟ノミ航行シ得ヘシ依テ大舟ニテ運ヒタルモノハ新ニ此處ニテ小舟ニ積換ヘ下航セラルヘカラス年ニ約一千餘隻ノ通過アリ而シテ此等ノ下航シタル小舟ハ多ク汁洛線沿線汜水或ハ京漢線上黃河南北岸ニ到ルモノナルカ河流ノ急且嶮灘アルトニヨリ溯航スルコトヲ得ス已ムヲ得ス舟ヲ毀壊シ賣却ノ上テ空手ニテ歸ラサルヘカラストノコトナリ、小舟ノ價格ハ陝州ニ於テハ約百六十兩（舟夫七人付）ヲ要ス、トモ黃河鐵橋到着後之ヲ賣却スルトキニハ二十弗内外ナリト

（陸路）陝州——觀音堂 百包（小舟一隻積分）百兩内外

（汽車）觀音堂——鄭州 二百擔（同） 二百四十弗

（水路）陝州——黃河南岸 百 包（同） 百七十兩内外

河南物資搬出ノ利便比較 鄭州南方ニ產スル桐材ノ各路搬出費ト運般ノ難易トヲ對比センニ日下河南ノ桐材ハ清桐洋行、異洋行、田村洋行、復信洋行、鈴木洋行等カ密縣、登封縣、嵩縣等一帶地方ニ出張員ヲ派シ調辨セシムルモノナルカ之ヲ搬出スルニ當リ洛陽方面ヘノ運出路ハ土匪ノ橫行

第十九章 日支合辦事業ノ利害

三五八

一、將來特ニ有望ト認ムル合辦事業
事業ノ種類及其ノ組織方法

合辦事業ノ種類及其ノ組織方法等ヲ記述ヘルニ先チ合辦事業ノ効果ニツキ一言セん、世人往々創業ニ際シ其ノ合辦トスルノ利害得失ヲ深ク究ムルコト無クシテ直チニ合辦ヲ實現スルノ傾向アリテ既設合辦事業ニ於テモ當初ノ打算ト齟龉シ失敗ヲ招ケル實例尠カラス、言語風俗ヲ異ニシ思想、知識、技量等同シカラサル者相集リテ共通ノ利益ヲ擧ケントスルニハ豫メ慎重ナル考慮ヲ要スルヤ固ヨリ言ヲ俟タサル所ニシテ之カ優良ナル効果ヲ擧ケンコト容易ノ業ニ非ルナリ故ニ合辦事業ヲ起シントスルニハ先ツ其ノ事業カ果シテ合辦トシテ有利ナルヤ否ヤ事業經營上必要ナル各項ノ詳細ニ亘リテ逐一研究ヲ遂ケタル上其ノ地方ノ事情、人的關係等巨細洩カス調査ヲ經タル上ニ決定セサルヘカラス只漫然ト合辦ヲ以テ臨ムハ其ノ本末ヲ顛倒セルモノニシテ豫期ノ成績効果ヲ擧タル事至難ト言ハサルヘカラス普通合辦事業成立ノ要素トシテ算セラル、モノハ概ネ左記

一、資本ノ共同出資ヲ要スル場合

二、開港地以外ノ内地ニ於テ外人ノミノ名義ヲ以テ經營シ得ナル場合

三、經營上合辦最有利ナル例ヘハ原料收買、製品販賣、勞動者操縱等ノ上ニ於テ合辦者トシテノ支那人ニ是非必要トスル場合

四、技術又ハ工場管理ノ見地ヨリ必要トスル場合
五、地方的事情ニ依リ利權等分ヲ必要トスル場合
六、銀行業ノ如キ一般民衆ヲ對象トシ且ツ支那ニ投資上必要有利ナル場合
等其ノ他特種ノ場合ニ於テ合辦事業ノ成立スルハ能ク人ノ知ル處ナリ然レトモ本邦人ノ在支事業經營ハ純收益ノ見地ヨリスレハ寧ロ單獨經營ノ利益ナル場合甚タ多シ是レ主ドシテ本邦人カ豐富ナル資本優秀ナル機械技術經驗ヲ擁シ而カモ支那語ヲ能クスルハ勿論其ノ生活狀態モ左シタル相違ナク原料ノ採買、製品ノ販銷乃至職工ノ操縱等ニ至ル迄比較的能ク本邦人ノ辨シ得ル所ニシテ使用人トシテノ支那人ノシテ純收益ノ立場ヨリ見タル處ナルカ對支政策上多少ノ立範圍ヲ縮小セラル、傾向ナルカ如シ尤モ右ハ單ニ營利業トシテアルヲ以テ將來特ニ有望ナル合辦事業ト云フカ如キハ實際利益ヲ犠牲ニスルモ尙合辦的結合ニヨリ相互ノ經濟連絡ヲ計リ支那人ノ覺醒ト相俟ツテ所謂日支親善ヲ實現セントスル企畫トハ固ヨリ其ノ前提ヲ異ニス

右ノ如ク合辦事業ハ深ク其ノ利害得失ヲ研究セヌシテ輕々シク之レカ成立ハ望マシカラサルト共ニ成立後ニ於テモ之カ組織方法ノ如何ニヨリテハ豫期ノ成効容易ナラサルモノアルヲ以テ將來特ニ有望ナル合辦事業ト云フカ如キハ實際ニ付キ綿密ナル採算ヲ經ルヲ要シ机上一朝一夕ニシテ之ヲ

斷定スル固ヨリ至難ニ屬スルトコロナルカ今管内ニ於ケル主ナル既設事業ヲ列記シ之カ研究ニ資セントス

一、紡績織布工場	六
二、凍製食料品工場	一
三、蛋黃白製造工場	七
四、清涼飲料水製造工場	三
五、造酒工場	一
六、製粉工場	六
七、磚茶製造工場	一
八、石鹼蠟燭製造工場	一
九、搾油工場	十二
十、セメント製造工場	二
十一、製桶工場	一
十二、電燈工場	一
十三、紙卷煙草工場	一
十四、製釘工場	一
十五、各種機械類製造工場	一
十六、製水工場	二
十七、鋼鐵製造工場	二
十八、鐵工場	一
十九、造船工場	一
二十、燐寸製造工場	二
二十一、煉瓦製造工場	三
二十二、硝子製造工場	二
二十三、棉花牛皮壓搾工場	四

ヲ算入スルヲ要ス

三五九

等ノ如キハ日本人ノ單獨經營トシテハ開港地域内ニ恰好ノ敷地ナキヲ以テ將來之カ開港地外ニ設立スルノ必要ヲ見ルニ至レリ此等ニ對シテハ慎重調査ヲ遂ケ經營其ノ宜シキヲ有様ナルカ果シテ然ラハ將來有望ナル合辦事業ナキヤ否ヤ之ハ前述ノ如ク實際上ノ計畫ヲ經サレハ云々シ難キトコロナルモ漢口方面ノ現狀ニ見テ

合辦事業ノ組織方法等ニ關シテハ是亦其ノ種類地方的事情並人ト時、其ノ他ニ依リ異ルヘキハ勿論ナルモ概言スレハ双方其ノ長所ヲ以テ互ニ提携スルヲ最便利トス即チ日本人ニ在リテハ機械、技術、知識、經驗ヲ以テ専ラ工場經營ノ任ニ當リ支那人ハ原料採買、製品販賣等ノ方面ニ力ヲ注クヘク労働者ハ特種技工ヲ要スルモノ、外ハ支那人ヲ用フルコト、スルハ勿論ナルカ茲ニ注意ヲ要スルハ單ニ利益ノ分配ヲ主眼トスルモノハ兎モ角經營ヲ主トスルモノニ在リテハ出資額ハ少クトモ本邦側半額以上タルヲ可トス然ラサレハ始終支那側ノ制肘ヲ受ケ不利益ノ地位ニ立ツラ常トス尤モ現時支那人ノ多クハ工場經營ノ經驗少ナク且ソ利己的ナルト又支那人ハ眼前ノ金錢小利ニハ頗ル銳敏ナルモ原料再使用乃至廢物利用的、觀念、知識ニ缺乏シ居ルヲ以テ事業經營一般ニ瓦リ各部ノ主任ヲ本邦人トスルカ又ハ適當ナル方法ヲ以テ濫費中飽等ノ弊害ヲ生セシメサル様監視ヲ怠ル可カラス又茲ニ注意セサル可カラサルハ邦人ハ概シテ感情ニ馳セ易ク爲ニ動モスレハ些末ノ事柄ニテ支那人ヲ怒罵スル等ノ爲和合上支障ヲ生スルコト多キヲ以テ此ノ點ハ最モ慎ムヲ要スルコトナリト思考ス然ラサレハ之カ言動ニヨリ感情阻隔シ從テ事業經營ニ影響ヲ來ス、從來往々之ヲ見聞スルトコロナリ

二、合辦事業ニ對スル支那官民ノ態度

支那官民ノ態度ハ其ノ地方、時代及人ニヨリ異ナル事勿論ナルカ現今管内ニ於ケル彼等官憲ノ態度ハ一般ニ之ヲ獎勵スル風モナク左リトテ又之ヲ排拒スルノ意嚮モナク時ニ重ト雖モ現今ノトコロ一般ニ合辦ヲ歡迎シ居ルモノト見ル能ハサル狀態ニアリ

第二十章 本邦人ノ着目スヘキ

事業

品名	單位	輸出額	產地	平均相場	摘要
棉花	擔	一、二〇〇、〇〇〇	湖北、湖南、河南、陝西	二八、〇〇	米、日、上海間
桐油	同	八五〇、〇〇〇	四川、湖南	一二、五〇	塗料歐米向
胡麻	同	一、七三五、〇〇〇	河南、湖北	五、五〇	製油歐米向
小牛皮	同	一、六〇〇、〇〇〇	河南、湖北	四〇、〇〇	歐米及日本
茶葉	同	三五〇、〇〇〇	湖北、湖南、江西、安徽	二、〇〇	製粉上海向
山羊皮	同	六四、〇〇〇	四川、湖南、湖北、陝西	六〇、〇〇	柔皮原料
植物脂	同	二七〇、〇〇〇	四川、湖南、湖北、河南	一二、〇〇	製蠟原料
蛋白	同	三四、〇〇〇	湖北、河南	九五、〇〇	化學工業用及食料
蛋黃	同	八〇、〇〇〇	同上	三五、〇〇	同

要ナル事業例ヘハ製鐵業、礦山探掘等ノ如キ一般ヨリ見テ重大ナル利權ハ支那カ半覺醒時期ニアリテ然カモ實力伴ハサル利權回收熱等ノ爲合辦トスルノ利害ヲ研究セス或ハ利益ナルヲ知リナカラ尙且世間體ヲ遠慮シ之カ決行ヲ躊躇スルノ傾向アルヲ認メラル特ニ近年ハ支那國內擾亂熄マス自然實業上ノ獎勵施設ヲ爲スノ追ナキノ状態ニ在ルハ事實ナリ一般人民ニ至リテハ漸次覺醒ノ域ニアリ泰西諸國ノ製造工業旺盛ナルヲ知リ豊富ナル自國產原料ヲ使用シ製造工業ノ發達ヲ企畫スルニ至リ利權回收熱ト相俟ツテ種々ノ企業ヲ目論見企業ハ必ス利益ヲ舉クルモノナルカ如ク信シ且自力之レカ遂行ヲ誇ラントシ好シテ單獨經營ヲ斷行スルモ元來資本不充分ナルト機械、技術ノ劣レルト工場管理ノ經驗淺キト原料、工費乃至販路トノ關係ヲ究メスシテ開設地點ヲ誤リ職工ノ數ハ多キモ能力劣レルト徒ラニ外觀ヲ飾リ資本ヲ固定セシメ流通ニ困難スル等之ヲ要スルニ計畫ノ粗雜ナル爲製品ハ概シテ粗劣ニシテ中ニハ良品ヲ出シ得ルモノモアルモ高價ノ爲買手無ク缺損ニ缺損ヲ重ネ遂ニ停業スルノ已ムナキニ至リ其ノ頗廢ニ委スルモノ實例甚タ多シ、尤モ近年綿糸紡績、織布、製粉業、製糸業ノ如キハ逐年發達シ漸次良好ノ成績ヲ示シ居ルモノアリ又石鹼、蠟燭、玻璃器等ノ如キ簡易工業ニ屬スルモノ相應ノ發達ヲ爲シ居ルモ工業國トシテノ支那ハ尙幼稚ニシテ前途遼遠ナルカ如シ而シテ外國人ノ優秀ナル機械、技術ト資本トノ結合ニ依リ續々合辦事業ヲ起スノ有利ナルヲ知ラサルヤトイフニ然ラレテ再ヒ當地ニ或ハ支那各地ニ輸入セラル、次第ニシテ之カ研究ト合セテ加工工業ヲ興スコト有望ニ屬ス今ノ輸出品ノ列記スレバ

其
他

玩

具

具

歯

粉

綿 防

肌布

等皆

用
ヲ
ヒ

七

卷二

總代理ヤフー別表
等皆國貨愛用ヲ旨トシ舶來品ヲ抵制シ殊ニ本邦品ヲ排斥セントスル狀態ニアリ且上海、廣東ノ支那人製品ノ移入多ク當業者ハ深ク研究スルトヨロアリテ對支取引ニ當リ支那ノ地ニ工業ヲ起スノ利ヲ利用スヘキナリ

三六四

大正十三年七月十五日印刷

大正十三年七月二十日發行

外務省通商局

印 刷 人

東京市外中選名六三〇


貢治

印 刷 所

敬文社印

刷所

東京市外中澁谷八三〇
敬文社印刷所



368
213

終